資料１

令和８年度 国有林野等所在市町村長有志協議会
（中通りブロック）

森林管理（支）署の取組事項

令和８年１０月１９日（月）

福 島 森 林 管 理 署
福島森林管理署白河支署
棚 倉 森 林 管 理 署

令和８年度　福島県内の国有林野事業の重点取組

１　東日本大震災からの復興・創生への貢献

・福島の森林・林業の再生に向けて、新たに設置される局の組織「福島森林再生センター」も活用し、地域の関係機関と連携しながら帰還困難区域を含む森林・林業再生に向けて取り組みます。
・帰還困難区域において、空間線量率モニタリング（継続）、航空レーザ計測データを用いた森林資源解析、除伐及び間伐の事業規模での実証を行います。



実証事業の成果報告会



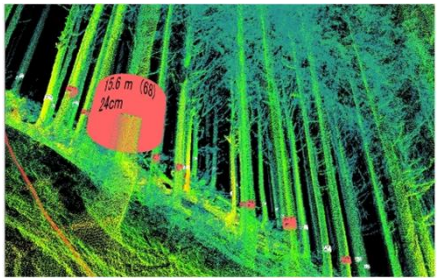
福島森林再生センター開所式

２　「新しい林業」に向けた取組の展開

（１）森林整備の計画的な推進

・利用期を迎えた人工林資源を有効活用すると同時に計画的な再造林を推進します。
・再造林にあたっては、花粉の少ないスギ苗木の植栽を進めるとともに、スギ以外の樹種への転換を進めます。


遠隔操作による伐採作業



森林3次元計測システムによる
データ解析画像

（２）林業の低コスト化・省力化

・初期成長に優れた特定苗木の植栽、植栽本数の削減、下刈りの省力化など、林業の低コスト化・省力化に向けた技術を積極的に導入します。
・「一貫作業システム」の推進、収穫調査の効率化に取り組みます。


スギ特定苗木の植栽


ラジコン式下刈機による
現地検討会

３　公益的機能の一層の発揮

（１）野生鳥獣被害対策の強化

①ニホンジカ対策
・定点カメラによる分布域把握を継続するとともに、新たに瞬間サンプリング法による個体数推計を行います。
・食害を防ぐため、防鹿柵の設置や忌避剤散布等を行います。
・地元猟友会等の協力も得て、ニホンジカの捕獲に取り組みます。


定点カメラに写ったニホンジカ


大江湿原での防鹿柵設置


忌避剤散布

②ツキノワグマ対策
・剥皮被害発生箇所では、樹幹に剥皮防止資材を巻きます。

（２）森林病害虫対策（ナラ枯れ）

・近年急速に拡大しているナラ枯れ被害に対し、拡大防止に向けて、ドローンを活用した監視を行うとともに、引き続き防除対策に取り組みます。


カシノナガキクイムシの駆除
（おとり丸太法）


ナラ枯れ被害状況調査

（３）国土強靭化に向けた取組

・集中豪雨・台風・地震等により発生した荒廃渓流や崩壊地等の復旧整備を推進するとともに山地災害の未然防止を図る予防対策を推進します。
・ICTによる遠隔臨場やドローンによる被害調査等により取組の効率化を図ります。


戸倉山復旧治山工事


ドローンによる雪崩発生状況の調査


遠隔臨場による現地確認

４　木材の安定供給

（１）国有林材供給における対応

・令和８年度の収穫量は、約４５万㎥の予定。
・関東森林管理局に業界関係者や有識者等を委員とする「国有林材供給調整検討委員会」を設置し、地域の木材価格や需要動向の把握に努め、必要に応じて供給調整を実施します。

（２）民有林との連携強化

・民有林と連携した林産物の供給や、効率的な森林整備に取り組みます。

《期待される効果》

短尺材や低質材など小ロットでは販路の乏しかった木材の販売が可能になり、民有林の間伐等、森林整備の促進につながります。

連携
・森林所有者（民有林）
・素材生産事業者
・国有林



【システム販売】
協定締結による安定供給
（大ロット化／流通コスト低減）



大口木材需要者
（製材工場、バイオマス発電所等）





出荷される丸太

５　市町村等への技術支援

（１）現地検討会の開催

・国有林で先駆的に取り組んでいる様々な施業方法等が民有林にも普及するよう、市町村や林業事業体をはじめ、広く関係者に参加を働きかけ現地検討会を開催します。



広葉樹の採材現地検討会



エリートツリー導入効果の現地検討会

（２）人材育成支援

・県と締結した協定にもとづき、林業アカデミーふくしまが行う就業前長期研修の実習フィールドを国有林内に設定し、間伐作業等の実習を行っています。
・関東森林管理局の研修に市町村職員も参加いただいています。



間伐作業実習



関東森林管理局
「森林の見方」研修

６　「国民の森林」としての管理経営

・新たな山村価値の創造や森林環境教育などの活動の場を提供するとともに、地域との情報共有や意見交換等を通じて「国民の森林」としての管理経営を行います。



高等学校初任者研修



「子ども樹木博士」イベント



中通り地区有志協議会

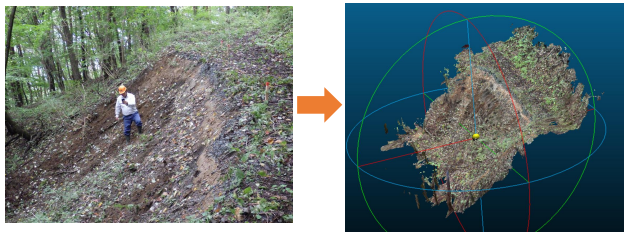
福島森林管理署の取組

ICT等の活用

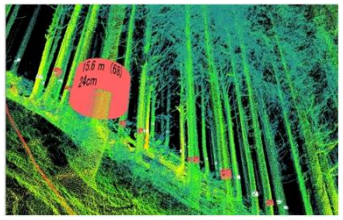
○ 治山事業における遠隔臨場の活用推進に取り組みます。
○ 災害調査や立木販売箇所でのICT導入に取り組みます。
○ 収穫調査（伐採予定箇所の立木の樹高、直径、材積、面積等の調査）の効率化に取り組みます。



遠隔臨場の普及（講習会の開催）



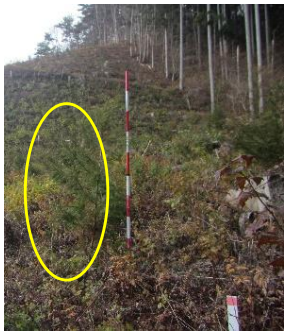
LiDARによる災害箇所の調査事例



森林３次元計測システムによるデータ解析画像

特定苗木の植栽推進

○ 下刈回数の削減が期待される、初期成長に優れた特定苗木の植栽を推進します。
○ 令和８年度は、エリートツリー次代検定林での現地検討会を予定しており、民有林関係者への普及に取り組みます。



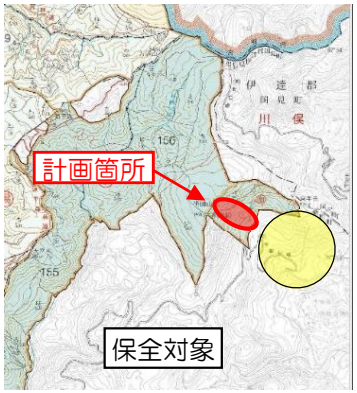
２年間で約２mに成長したスギ特定苗木

表１　特定苗木植栽本数、面積の推移（福島署管内）

	R4	R5	R6	R7	R8計画
植栽本数（本）	69, 770	35, 780	83, 300	63, 876	49, 080
植栽面積（ha）	35	18	42	32	25

治山事業（復旧治山工事）の実施

○ 令和８年度より、伊達郡桑折町の半田山地区国有林の地震による山腹崩壊箇所において、今後の降雨等による崩壊拡大や不安定土砂の流下防止のための復旧治山工事を開始し、森林の機能回復を図ります。



計画箇所等位置図



計画箇所全景



保全対象（半田山自然公園）
出典：福島県観光復興推進委員会HP



保全対象（ため池等）

広葉樹等の利活用に向けた取組

○　広葉樹の付加価値を高める採材方法を検討し、広葉樹の有効利用を意識した採材に取り組みます。



広葉樹材の採材現地検討会

森林環境教育

○　森林環境教育を実施する民間団体等との連携を図り、小・中学校の児童生徒を対象とした森林教室等のためのフィールド提供などに取り組みます。



「子ども樹木博士」イベント

福島森林管理署の取組

森林病虫獣害対策

【ニホンジカ対策】

○　令和８年度生息状況調査については、引き続き国有林内の定点に設置したセンサーカメラによる分布域把握を実施するとともに、瞬間サンプリング法による個体数推計を実施します。
　また、シカによる食害が確認されていることから、引き続き忌避剤散布を実施します。



定点カメラに写ったニホンジカ



忌避剤散布の様子

【ナラ枯れ対策】

○　粘着シート（カシナガホイホイ）による捕獲を実施します。



カシナガホイホイによる捕獲

【クマ剥ぎ対策】

○　リンロンテープやウィリーによる予防策を実施します。



クマ剥ぎの様子（出典：東北森林管理局令和３年度森林・林業技術交流発表会、26_「クマ剥ぎ対策の効果とその可能性について」、置賜森林管理署



対策の様子（右上：リンロンテープ、左下：ウィリー）

人材育成の支援

○　福島県農林水産部との「林業の人材育成に向けた福島県と福島森林管理署との連携及び協力に関する協定」に基づき、「林業アカデミーふくしま」が開講した就業前長期研修の実習フィールドを福島署管内の国有林内に設定、さらに令和７年度は実習フィールドを拡張して、受講者から要望の多かったチェーンソーによる伐木等の実習の充実に対応しています。

○　令和８年度は、森林・林業の基礎、チェーンソー伐木造材、立木調査、森林保護（病虫害・獣害）、間伐（選木）について福島署管内の国有林で実習が予定されています。



実習フィールド林



間伐作業実習

○　「福島大学食農学類と福島森林管理署との連携・協力に関する協定」に基づき、大学からの要望に応じて国有林内の事業実施箇所の見学や、実習に協力するとともに、福島署が行うシカ捕獲等の業務について指導や助言を得るなどの連携を図っています。



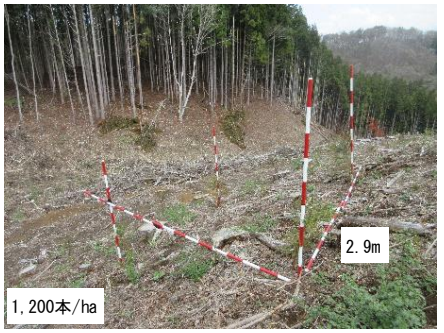
植栽実習

白河支署の取組

（１）造林事業に係るコスト低減、省力化対策

再造林費のコスト低減や造林作業の省力化として、天栄村の大沢国有林で、令和７年度に低密度（1,200本/ha・1,600本/ha）植栽試験地を設定し、今後追跡調査を実施することとしています。

また、令和８年５月には、白河市の木戸ケ入国有林で、スギ・ヒノキの植付の際に林地施肥（超緩効性肥料）を試験的に行い、生育促進により下刈コスト削減の可能性を検証していくこととしています。



低密度植栽試験地（天栄村）


林地施肥試験地（白河市）

（２）現地検討会

伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする「新しい林業」に向けた取組を推進するため、生産・造林事業の現地検討会を開催しました。12月に開催した、高性能林業機械の現地検討会は、従来の重機で作業が困難な急傾斜地（最大傾斜45度）などでの作業が可能なスパイダーによる操作実演を行いました。３月に開催した、ラジコン式下刈り作業機の現地検討会は、下刈り作業の省力化・軽労化や安全性の向上を図るため、実演・操作体験を行いました。

今年度は、自治体要望も踏まえた内容で、検討しています。


高性能林業機械の現地検討会


ラジコン式下刈り作業機の現地検討会

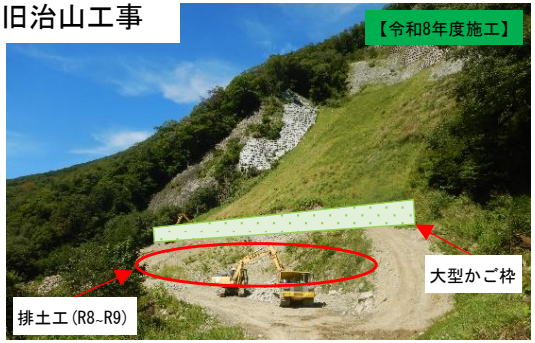
（３）治山事業（復旧治山工事）

天栄村の戸倉山国有林において、戸倉山復旧治山工事を施工し、平成22年９月より度重なる震災により発生した崩壊箇所で、拡大崩壊及び表面侵食等を防止するため、斜面の安定と早急な植生導入を行い、森林機能の回復を図っています。本工事は、令和９年度の完成を目指しています。

また、令和８年度は、地元要望を受けて、天栄村の二岐温泉上流の二俣国有林において、湯本地区復旧治山工事を施工し、温泉源等の保全対策を実施しております。

戸倉山復旧治山工事


施工前（平成23年７月）



施工状況（令和8年9月14日）

棚倉森林管理署の取組

「新しい林業」実行プランの取組

（１）防草シートを用いた造林事業の省力化・低コスト化に向けた取り組み

主伐の増加に伴い造林面積が増加するなか、下刈りの省力化や低コスト化に向けた取り組みが必要となっています。そこで当署では令和４年度から苗木を囲うような形で防草シートを設置し、雑草木の被圧を抑制し下刈回数を減少させられるか検証を行ってきました。しかし、調査を始めて３～４年が経ち、植栽木が雑草木による被圧を受け枯れる箇所が多く見受けられたことから、令和７年度に全ての試験地の雑草木を刈払い、現在の状況を調査し、当署における最終報告とし取りまとめました。

◎結論：

①防草シートの防草効果は当署においては期待していたほど得られなかった。

②防草効果の面でもかかるコストの面においても下刈作業の代替として防草シートは現状難しい。

との結論になりました。

なお、詳細は局ＨＰ「令和７年度 森林・林業技術等交流発表会」をご覧ください。

【リンク先】https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/sidou/attach/pdf/r7_kanto_presentation-25.pdf

試験区	林小班	傾斜	樹種	林齢	苗木特性
①	13は12	30	スギ	3	特定母樹
②	13は13	22	スギ	3	普通苗
③	57つ2	35	スギ	3	特定母樹
④	57か	32	スギ	4	特定母樹
⑤	112は	26	スギ	4	普通苗



１３は１３林小班（Ｒ５.５）



１３は１３林小班（Ｒ７.８）

（２）低密度植栽試験地

従来の植栽密度は、3,000 本/ha程度を目安としてきました。しかし、再造林にかかるコスト削減等の理由から植栽密度を見直す取組みが進められ、平成28年度から主伐後に行う人工造林の植栽密度は2,000本/haを基本とし、今後は1,800本/haに向けて取組むこととしております（保安林については、指定施業要件に定められた下限本数）。当署には、間伐回数の削減等の可能性を調べるため平成９年度に設定されたスギ低密度植栽試験地があり、令和８年度現在で30年生となっています。人工林施業では、間伐をくり返し、徐々に密度を減らしていくのですが、当該試験地では植栽密度を初回間伐後（25年生）の本数に相当する1,200 本/ha、２回目間伐後（35年生）の 本数に相当する 800 本/ha、スギ主伐期（45年生）の本数に相当する600 本/haの３箇所の調査区を設定しています。また、それぞれの調査区には１箇所ずつ3,000 本/haの対照区を設け、従来の施業との比較ができるようになっています。さらに、30年経過したことから、今年度生育状況調査等実施することにしておりますので、結果は「令和８年度 森林・林業技術等交流発表会」等で発表する予定としております。

なお、現地見学等要望が有りましたら対応したいと考えております。







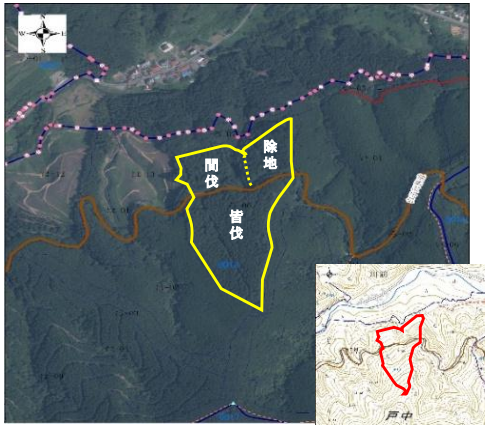


その他の取組

（１）高齢級人工林の有利販売に向けた取り組み

今年度、新たな森林計画が始まり、その計画を編成する際に今までヒノキ展示林だった箇所をヒノキ長伐期林に変更したことから、伐採可能となりました。よって、今年度伐採搬出し、少しでも有利（高く）販売することに努めております。各市町村で庁舎等の建築予定が有りましたら、この機会に購入を検討頂ければと思います。

場　所：那須道国有林１３ろ６林小班（棚倉町）
樹　種：ヒノキ１２２年生（旧展示林）
面　積：６.４１ｈａの内、５ｈａを実施中
資材量：２,７７８㎥
素材生産量：２,３００㎥
事業の期間：令和８年８～１１月末
売払方法：委託販売、自署公売
委託先：南東北木材株式会社（伊達市土場でセリを実施）
日　時：特別市　　令和８年１０月６日（火）９時より
　　創立記念市　令和８年１１月６日（金）９時より
　　年末謝恩市　令和８年１２月８日（火）９時より




平均樹高２５ｍ平均直径４４cm


役物が期待されるヒノキ


伐倒木


造材木

（２）八溝山周辺地域におけるニホンジカ対策

八溝山周辺の国有林を管轄する塩那署、茨城署とともに、令和元年に「八溝山周辺国有林ニホンジカ対策協議会」を設立し、生息状況等の情報共有を行っています。令和２年には、当署管内で初めてシカによる造林木の食害が確認されたことから、森林総合研究所等関係機関による現地調査を実施しました。被害の状況を踏まえるとシカが低密度に生息する地域と考えられることから、忌避剤散布による防除が効率的との意見を踏まえ対策を実施しています。令和７年度の取組としては、前年度に引き続き、委託事業によるセンサーカメラによる撮影（47頭撮影）と、捕獲事業（０頭捕獲）を実施しました。令和８年度についても同様に取組、低密度地域における捕獲手法等の検討を行い、得られた情報を関係機関と共有して、地域と連携したニホンジカ対策を推進します。


令和7年9月7日センサーカメラで撮影


令和8年1月1日　撮影


令和7年9月7日　撮影


令和7年10月21日忌避剤散布の様子

令和8年度福島県中通りブロック国有林の主要事業量

令和8年4月1日現在

森林管理署等	市町村名	収穫量（m３）※立木材積			素材生産量（m３）	造林（ha）			林業専用道新設（m）	治山事業										
		主伐	間伐	計		植付	下刈	保育間伐		渓間工（m３）	箇所	山腹工（ha）	箇所	保安林整備（ha）	箇所	海岸防災林事業			
																（ha）	箇所	（m）	箇所
福島	福島市	5,628	4,628	10,256	3,000	13	6												
	郡山市	16,892	7,078	23,970	5,210		34					0	1						
	二本松市	6,695	765	7,460	80	15	5												
	田村市	26,142	7,430	33,572	6,750	39	149	5											
	伊達市																		
	桑折町											0	1						
	川俣町																		
	大玉村		7,522	7,522	4,960		24												
	小野町	1,068		1,068			4												
	計	56,425	27,423	83,848	20,000	67	222	5				0	2						
白河支署	白河市	7,678	6,622	14,300	10,280	40	68		124										
	須賀川市	5,707		5,707		8	33												
	天栄村	1,736		1,736		9	8					0	2						
	西郷村						15												
	玉川村					2	3												
	平田村	558		558		52	115												
	古殿町	26,790	30,893	57,683	31,720	37	240												
	計	42,469	37,515	79,984	42,000	147	483		124			0	2						
棚倉	棚倉町	24,263	19,235	43,498	18,765	44	95												
	矢祭町	6,502	9,098	15,600	11,575	19	36	1											
	塙町	9,023	32,420	41,443	30,095	58	278	7											
	鮫川村	18,423	7,422	25,845	9,565	16	102												
	計	58,211	68,175	126,386	70,000	137	510	9											
合計		157,105	133,113	290,218	132,000	351	1,214	13	124			1	4						

注）事業量には令和7年度補正・繰越し分を含む。
伐採量には、分収育林、分収造林、官公造林地の伐採量を含む。
表中の０は四捨五入により１に満たない事業量を示す。
保育間伐は存置型とし、治山費の本数調整伐を含む。

国 有 林 に 関 す る 問 い 合 わ せ 先

福 島 森 林 管 理 署	９６０－８０５５　福島県福島市野田町７丁目１０－４ 電　話　０２４（５３５）０１２１（代表） E-mail:ks_fukushima_postmaster@maff.go.jp 管轄区域：　福島市・郡山市・二本松市・田村市・伊達市・伊達郡桑折町・川俣町・安達郡大玉村・田村郡小野町
福 島 森 林 管 理 署 白　河　支　署	９６１－００７４　福島県白河市郭内１２８－１ 電　話　０２４８（２３）３１３５（代表） E-mail:ks_shirakawa_postmaster@maff.go.jp 管轄区域：　白河市・須賀川市・岩瀬郡鏡石町・天栄村・西白河郡西郷村・泉崎村・中島村・矢吹町・石川郡石川町・玉川村 平田村・浅川町・古殿町
棚 倉 森 林 管 理 署	９６３－６１３１　福島県東白川郡棚倉町棚倉大字棚倉舘ケ丘７３－２ 電　話　０２４７（３３）３１１１（代表） E-mail:ks_tanagura_postmaster@maff.go.jp 管轄区域：　東白川郡棚倉町・矢祭町・塙町・鮫川村